



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社 ベルーナ

上場取引所 東

コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 松田 智博

TEL 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	49,754	6.3	2,175	△18.8	1,934	△21.0	1,020	△11.9
23年3月期第2四半期	46,822	1.8	2,678	75.5	2,450	47.7	1,158	11.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,399百万円 (64.6%) 23年3月期第2四半期 850百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	20.40	19.45
23年3月期第2四半期	23.12	21.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	110,794	58,186	52.5	1,173.18
23年3月期	110,595	57,465	52.0	1,146.45

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 58,186百万円 23年3月期 57,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	5.4	6,800	1.0	6,700	5.3	4,200	△4.3	83.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	56,592,274 株	23年3月期	56,592,274 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,995,339 株	23年3月期	6,467,471 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	50,035,414 株	23年3月期2Q	50,125,461 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成23年11月11日（金）に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、先の東日本大震災後の復興努力によるサプライチェーンの急速な回復などにより改善の兆しがみられたものの、欧州の金融不安や米国の景気後退懸念、円高の長期化など景気の先行きに不透明感が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは継続的な成長性、収益性、安定性の実現に向け、引き続き顧客ニーズを的確に捉えた商品展開と、Eコマースの拡大に努め、新規顧客及びリピート顧客の拡大を図って参りました。また、財務健全化の一環として有利子負債の削減を図って参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49,754百万円（前年同期比6.3%増）となりました。利益面におきましては、ファイナンス事業において営業貸付金及び利息返還請求の減少に伴い関連する引当金繰入額が減少したものの、専門通販事業における積極的な媒体展開などで営業利益は2,175百万円（同18.8%減）となりました。経常利益は、米国子会社の清算に伴い為替差損を計上したことにより1,934百万円（同21.0%減）となりました。四半期純利益は、前連結会計年度に実施した不動産子会社の組織再編に起因した税効果等の影響で、1,020百万円（同11.9%減）となりました。

〔総合通販事業〕

東日本大震災の影響は比較的軽微で済み、「家庭用品」や「アパレル」などが順調に売上を伸ばした結果、売上高は32,962百万円（同6.6%増）となりました。セグメント利益は売上原価率が上がる一方で、経費削減効果もあって211百万円（同78.1%増）となりました。

〔専門通販事業〕

化粧品、健康食品の事業において、通期での増収を実現するため積極的な媒体展開を行いました。その結果、売上高は10,160百万円（同6.8%増）、セグメント利益は294百万円（同75.7%減）となりました。

〔ソリューション事業〕

総合通販事業の商品発送数の増加に加え、付加価値サービスの提供で、封入・同梱サービスが順調に拡大、また通信販売代行等の受託サービスもクライアント企業に対する提案型営業が功を奏したため、売上高は2,072百万円（同33.3%増）、セグメント利益は885百万円（同30.7%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

不動産担保金融事業で営業貸付金残高の圧縮を図りました。国内消費者金融事業でも営業貸付金残高が減少したことに加え、昨年6月の貸付金利引下げの影響もあって、売上高は1,384百万円（同21.3%減）となりました。セグメント利益は、営業貸付金及び利息返還請求の減少に伴い関連する引当金繰入額が減少したため326百万円（同58.4%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

賃料収入の低下もあって売上高は569百万円（同8.0%減）、セグメント利益は販売用不動産の評価損がなかったことや修繕費等が減少したことで162百万円（同51.6%増）となりました。

〔その他の事業〕

和装の店舗展開を行っている㈱BANKAN、㈱わものやが順調に売上を伸ばし、売上高は2,831百万円（同9.9%増）となりました。セグメント利益は増収効果もあって、221百万円（2.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ637百万円増加し、69,592百万円となりました。これは主に商品及び製品が1,812百万円、受取手形及び売掛金が683百万円増加した一方で、販売用不動産を仕掛販売用不動産の他、有形固定資産へ振り替えた結果、1,142百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ437百万円減少し、41,202百万円となりました。これは主に破産更生債権等が548百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、110,794百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,320百万円増加し、40,855百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2,002百万円、未払費用が763百万円増加した一方で、未払法人税等が871百万円、短期借入金が752百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,841百万円減少し、11,752百万円となりました。これは主に長期借入金が1,344百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ520百万円減少し、52,608百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ720百万円増加し58,186百万円となりました。これは主に四半期純利益が1,020百万円であった一方、自己株式を303百万円取得したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.5%（前連結会計年度末は52.0%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,099百万円減少し、15,507百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により取得した資金は前第2四半期連結累計期間より1,972百万円減少し、2,487百万円となりました。これは主に営業貸付金の回収額が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は前第2四半期連結累計期間より616百万円減少し、1,520百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出が増加した一方で、有価証券の売却による収入の増加、投資有価証券の取得による支出が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は前第2四半期連結累計期間より6,239百万円減少し、3,114百万円となりました。これは主に社債の償還による支出が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度の適用を含め国内子会社の一体管理が重要になってきたこと、また、専門通販事業内での重要性が増してきたため、子会社である㈱ナースリーを連結の範囲に含めております。

また、ビーエヌ インターナショナル ユーエスエー インクが平成23年4月、㈱ペルーナマーリングサービスが平成23年9月をもって清算終了しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,688	20,494
受取手形及び売掛金	10,937	11,621
営業貸付金	15,793	15,633
有価証券	3,275	2,899
商品及び製品	9,215	11,028
原材料及び貯蔵品	605	634
販売用不動産	4,768	3,626
仕掛販売用不動産	433	839
繰延税金資産	1,356	877
その他	3,231	3,375
貸倒引当金	△1,351	△1,439
流動資産合計	68,954	69,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,154	11,205
機械装置及び運搬具（純額）	129	117
工具、器具及び備品（純額）	473	408
土地	15,125	15,584
リース資産（純額）	372	315
建設仮勘定	55	1
有形固定資産合計	27,310	27,632
無形固定資産		
のれん	361	296
リース資産	959	1,027
その他	3,881	3,367
無形固定資産合計	5,202	4,691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,930	2,296
長期貸付金	1,009	695
破産更生債権等	5,877	5,329
繰延税金資産	1,664	1,335
その他	1,944	1,916
貸倒引当金	△3,300	△2,694
投資その他の資産合計	9,126	8,878
固定資産合計	41,640	41,202
資産合計	110,595	110,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,197	15,199
短期借入金	4,893	4,140
未払費用	5,786	6,549
リース債務	542	585
1年内償還予定の社債	200	200
1年内償還予定の新株予約権付社債	11,000	11,000
未払法人税等	1,117	245
賞与引当金	345	417
返品調整引当金	64	90
ポイント引当金	532	396
災害損失引当金	126	63
その他	1,729	1,965
流動負債合計	39,534	40,855
固定負債		
社債	700	600
長期借入金	8,494	7,149
利息返還損失引当金	2,042	1,816
リース債務	654	556
退職給付引当金	283	285
役員退職慰労引当金	213	215
資産除去債務	432	437
その他	774	692
固定負債合計	13,594	11,752
負債合計	53,129	52,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	46,215	46,860
自己株式	△8,796	△9,100
株主資本合計	59,029	59,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△17
為替換算調整勘定	△1,486	△1,166
その他の包括利益累計額合計	△1,563	△1,184
少数株主持分	0	0
純資産合計	57,465	58,186
負債純資産合計	110,595	110,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	46,822	49,754
売上原価	19,939	21,633
売上総利益	26,882	28,121
返品調整引当金繰延差額	14	26
差引売上総利益	26,868	28,095
販売費及び一般管理費	24,190	25,920
営業利益	2,678	2,175
営業外収益		
為替差益	139	—
その他	250	374
営業外収益合計	390	374
営業外費用		
支払利息	252	183
為替差損	—	322
デリバティブ評価損	101	39
貸倒引当金繰入額	145	—
その他	119	68
営業外費用合計	618	614
経常利益	2,450	1,934
特別利益		
償却債権取立益	47	—
特別利益合計	47	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	75
投資有価証券評価損	71	41
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	205	—
特別損失合計	277	116
税金等調整前四半期純利益	2,221	1,817
法人税、住民税及び事業税	828	84
法人税等調整額	234	713
法人税等合計	1,062	797
少数株主損益調整前四半期純利益	1,158	1,020
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,158	1,020

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,158	1,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	59
為替換算調整勘定	△284	319
その他の包括利益合計	△308	379
四半期包括利益	850	1,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	850	1,399
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,221	1,817
減価償却費	1,134	1,097
返品調整引当金の増減額(△は減少)	14	26
のれん償却額	65	65
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△307	△257
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	65
退職給付引当金の増減額(△は減少)	0	2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	2
ポイント引当金の増減額(△は減少)	5	△136
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△140	△226
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△62
受取利息及び受取配当金	△77	△63
支払利息	256	183
デリバティブ評価損益(△は益)	101	39
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	71	116
売上債権の増減額(△は増加)	△142	△583
営業貸付金の増減額(△は増加)	4,379	681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,268	△1,569
販売用不動産の増減額(△は増加)	65	14
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△14	△635
仕入債務の増減額(△は減少)	139	1,756
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△820	998
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△6	△0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	205	—
その他	34	△87
小計	5,923	3,246
利息及び配当金の受取額	44	134
利息の支払額	△262	△183
法人税等の還付額	135	317
法人税等の支払額	△1,381	△1,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,460	2,487

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,007	△3,477
定期預金の払戻による収入	—	1,553
有価証券の取得による支出	—	△3,098
有価証券の売却による収入	63	3,999
有形固定資産の取得による支出	△68	△55
無形固定資産の取得による支出	△325	△261
投資有価証券の取得による支出	△800	△200
投資有価証券の売却による収入	1	1
貸付けによる支出	△80	—
貸付金の回収による収入	44	58
差入保証金の回収による収入	20	2
その他の支出	△12	△45
その他の収入	27	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,137	△1,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△426	△200
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△2,060	△2,011
社債の発行による収入	1,000	—
社債の償還による支出	△6,100	△100
社債の買入消却による支出	△1,441	—
自己株式の取得による支出	△0	△303
配当金の支払額	△375	△375
リース債務の返済による支出	△250	△280
セール・アンド・リースバックによる収入	—	156
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,354	△3,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	4
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,085	△2,143
現金及び現金同等物の期首残高	21,166	17,607
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	43
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,080	15,507

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	30,881	9,513	1,479	1,758	611	2,577	—	46,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	0	75	—	7	—	△133	—
計	30,930	9,514	1,555	1,758	619	2,577	△133	46,822
セグメント利益	118	1,213	677	206	107	216	138	2,678

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳204百万円とのれん償却費△65百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	32,905	10,131	1,931	1,384	569	2,831	—	49,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	29	141	—	—	—	△226	—
計	32,962	10,160	2,072	1,384	569	2,831	△226	49,754
セグメント利益	211	294	885	326	162	221	72	2,175

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳137百万円とのれん償却費△65百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。